

日本の農村は明るい！農業に関わる女性が南阿蘇から農村の魅力をアピール

女性農家が全世界に向けて発信 「日本の田舎の底力！」



“農業・農村”の魅力や可能性を様々な角度から高めようと活動している女性たちが、昨年の熊本地震で大きな被害を受けた南阿蘇村に集まります。目的は、被災してもなお美しく、楽しく、美味しい「日本の田舎の底力」を世界にアピールすることです。

熊本地震から1年たった今年の4月。南阿蘇村在住でNPO法人田舎のヒロインズの理事長を務める大津愛梨は、世界農業遺産に認定された阿蘇地域の「創造的復興」を目指し、「農業と観光の新たな連携」が実現できるレストランバスの運行を始めました。このバスは、1階がキッチン、2階が客席となっており、電車の全線復旧までには数年かかると言われている阿蘇エリアにおける、いわば「線路がなくてもできるご当地ツアー」。観光地ではなく、生産者や生産地を訪ね、そこで採れた生産物をつかったお料理を、風景を見ながら楽しんでもらうツアーは、運行開始以来、多くのメディアで取り上げられてきました。

想いと希望を詰め込んだこのツアーに想いを同じくする仲間たちにも参加してもらおうと呼びかけたことで実現に至ったのが今回のコラボ企画。農業ICTで日本の農業の促進に取り組むNTTドコモの農業ICTを推進する女性グループ「アグリガール」や農林水産省が組織した「農業女子プロジェクト」のメンバー、そして熊本県内でキラキラ輝いている若手女性農家が一堂に会し、被災した熊本を元気づけるため、また、日本の農村の魅力や可能性を「持続可能な社会」の実現にむけて今こそ世に投げかけるため、「“農村はタカラ”宣言」を共同で行う予定です。農に関わる女性たち自身による、日本の農村の世界へのアピール。地震でアクセスが悪くなっている南阿蘇村ですが、ぜひ「世界への発信」にご協力ください！

尚、今月中旬にはこのバスを利用した婚活イベント（農家の嫁不足改善や移住定住促進が目的、6/16～18）や、インバウンドを狙った外国人向け英語ツアーの共催も予定しています。詳細はお問い合わせ下さい。

■企画概要

- ・日程 : 2017年6月15日（木）
- ・場所 : 「四季の森」熊本県阿蘇郡南阿蘇村〇〇
- ・時間 : 11:00～14:00 宣言発表：14:30～15:00
- ・主催 : NPO法人田舎のヒロインズ、アグリガール
- ・協力 : 農業女子プロジェクト

【お問い合わせ】NPO法人 田舎のヒロインズ事務局（担当：福原）

TEL : 080-8478-4148 Mail : inakano-heroine@gmail.com

■NPO法人田舎のヒロインズ

農家女性のネットワークとして1994年に前身である「田舎のヒロインわくわくネットワーク」が誕生。2014年に世代交代を果たし、ネットワークづくりからアクションづくりを目指し、NPO法人田舎のヒロインズと改名して再スタートを切った。現在は「農家が食べ物も風景もエネルギーも次世代も育てる社会」を目指して活動を続けており、約150名の会員がいる。農村の風景をプリントした服でのファッションショーや、子供の生きる力を育む夏合宿などを実施している。

(HP:<http://inakano-heroine.jp/index.html>)



風景を着るファッションショー



「リトルファーマーズ養成塾」



再エネオンライン講座

■アグリガール

NTTドコモ社の、農業ICT推進プロジェクトチームに所属する女性メンバーで立ち上げたグループ。全国に70名の地域アグリガールが存在する。農水省の「農業女子プロジェクト」（下記参照）にも参画し、女性という視点を大切にしながら、農業ICTサービスの普及に取り組み、日本の農業・農村の活性化に精力的な取組みを進めている。

(<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/ir/library/docotsu/65/front.html>)

■農業女子プロジェクト

農水省が呼びかけて2013年にスタートしたプロジェクト。現役女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業の技術・ノウハウ・アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を創造し、社会に広く発信していくためのプロジェクト。このプロジェクトを通して、社会全体での女性農業者の存在感を高め、併せて職業としての農業を選択する若手女性の増加を図る。

(HP: <https://nougoujoshi.maff.go.jp/>)

■レストランバス

“旬を食する旅”をコンセプトとする二階建て観光バス。日本で初めて対面式の移動式レストランを実現し、2016年4月から運行を開始した。普通の観光ツアーでは訪れることのできない場所を巡り、観光地ではない場所でもツアーが組めることから、地方の活性化のツールとして期待されている。2017年に2台目が登場し、昨年地震で大きな被害を受けた熊本における「創造的復興」の具体的な形として運行中。

(レストランバス熊本:<https://www.facebook.com/restaurantbus.kumamoto/?fref=ts>)

■阿蘇の世界農業遺産

世界農業遺産（GIAHS : Globally Important Agricultural Heritage Systems）とは、国際連合食糧農業機関（FAO）が開始した仕組みで、次世代に受け継がれるべき重要な伝統的農業や生物多様性、伝統知識、農村文化、農業景観などを全体として認定し、その保全と持続的な活用を図るもの。阿蘇地域は2013年に「阿蘇の草原の維持と持続的農業」として認定を受けた。阿蘇の草原は、人々が野焼き・放牧・採草を繰り返すことで千年以上維持され続けている半自然草原。草資源を活用した循環型の阿蘇の農業が素晴らしい景観や生物多様性を育ててきた。現在も時代にあわせて循環型農業により阿蘇の草原維持が取り組まれている。（HP : <http://www.giahs-aso.jp/>）